

「開発教育・国際理解教育教材展」報告書

2007/8/28 市民国際プラザ・清水作成

<協力団体について>

団体名（アイウエオ順、法人格略）	紹介した教材および映像資料
アジア・太平洋資料センター	ビデオ『ペットボトルの水』
アジア太平洋人権情報センター	ビデオ『日本の国際化と人権～違いを認め合う地域社会を～』
アムネスティ・インターナショナル	ビデオ『死刑廃止を考える』
映像文化協会	ビデオ『教えられなかった戦争・フィリピン編』 / 『教えられなかった戦争・沖縄編』
開発教育協会	『新・貿易ゲーム』、『コーヒーカップの向こう側』、『もっと話そう!平和を築くためにできること』、『グローバル・エクスプレス』、『たずねてみよう!カレーの世界』、『お弁当屋さんゲーム』、『「援助」する前に考えよう』、『世界がもし 100 人の村だったら』、『貧困と開発』、『パーム油のはなし』
開発教育を考える会	『地球の仲間たち (CD-R 版)』
かながわ国際交流財団	『世界からやってくるわたしたちの食べ物』、『カレーキット』、『たみちゃんシリーズ』
泉北識字・よみかき・日本語連絡会	ビデオ『がんばる識字』
地球市民 ACT かながわ	ビデオ・DVD『デック 子どもたちは海を見る』
地球の木	『マジカル・バナナ (プラザ所有)』
地球の友と歩む会	『活動 (アクティビティ) ですすめる国際理解教育教材』
ナマケモノ倶楽部	『セヴァン・スズキ 「92'伝説のスピーチ」』
難民支援協会	ビデオ『日本の難民問題～「となりの難民」と私たち～』
日本フォスター・プラン協会 (プラン・ジャパン)	『夢のこいのぼりボックス (世界版)』、『世界の子どもボックス (バングラデシュ版)』
ピナツボ復興むさしのネット	『フィリピン・ボックス』、『フィリピン・竹の楽器ボックス』、『戦争と女性を考えるワークショップ・キット』

<企画展概要>

テーマ:「本当の豊かさってなんだろう? ~ 開発教育・国際理解教育教材展 ~」

日時: 2007 年 7 月 30 日 (月) ~ 8 月 10 日 (金) 10:00 ~ 18:00 (土日休み)

会場: (財) 自治体国際化協会 (CLAIR) 市民国際プラザ

趣旨: 市民国際プラザでは、望ましい開発のあり方を考え、共に生きることの出来る公正な地球社会を作るための教育である「開発教育」をテーマに、教材展を 7 月 30 日 ~ 8 月 10 日まで開催した。日本と途上国のつながりを考えることで、自分自身の生活や考え方を振り返り、よりよい社会を作っていくための教材を、来訪者に見てもらい、今後の活動の参考にしてもらうことを目的とした。

内容: 地域国際化協会・NGO が作成した開発教育教材や参考図書の展示 (7 団体 21 種類) / ビデオ上映 (8 団体 9 種類) / 教材や団体についての解説

特別企画の開催：

ビデオ『ペットボトルの水』上映会&意見交換会

日時：8月6日(月)19:00-21:00、場所：(財)自治体国際化協会・市民国際プラザ

リソースパーソン：小池菜採氏((特活)アジア太平洋資料センター)

映画『デック 子どもたちは海を見る』上映会&活動紹介

日時：8月7日(日)18:15-20:45、場所：(財)自治体国際化協会大会議室

リソースパーソン：近田真知子氏、伊吾田善行氏((特活)地球市民ACTかながわ)

来訪者内訳：

地域国際化協会5名(かながわ国際交流財団、浦安市国際センター)/NGO9名(NPO法人HANDS、横浜NGO連絡会、八王子国際友好クラブ/八王子国際交流団体連絡会)/会社員1名/教育関係者6名(日本文化教育振興協会、YMCA)/学生10名(早稲田大学大学院、横浜国立大学)/その他7名(JICA、JICA地球ひろば、日本ユニセフ協会神奈川県支部)/一般37名(無記名の方) 計75名

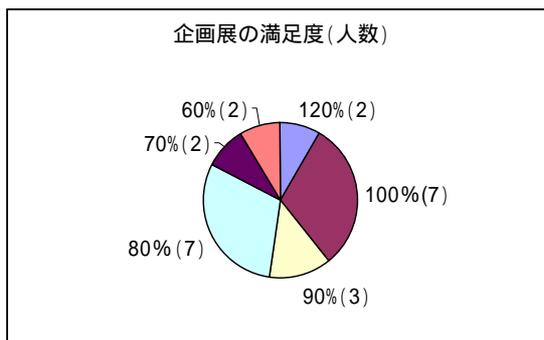
来訪者が参考にした広報媒体：

プラザウェブサイト10名/メーリングリスト18名(開発教育協会(DEAR)実践者会議、アジア太平洋資料センター会員メーリングリスト、市民活動web、NPO walker、NGO Network、拓殖大学国際開発ファシリテーター養成講座メーリングリスト)/新聞1名/友人・知人19名/その他2名(国際協力メルマガ)

<企画展の満足度>

来訪者に聞いた、企画展の満足度のグラフを記す。

「80%」以上が全体の8割を占める結果となった。



<来訪者のようす>

今回の教材展の特徴として以下の点が挙げられる。

- ・長時間滞在し、ビデオや教材を見る来訪者が多かった。
- ・開発教育や国際理解教育に取り組もうとしている(教材開発の途中、教材の購入予定、ワークショップ計画、人材育成プログラムを予定)人が、教材の中身や使い方を質問することが多かった。
- ・相談する人は、地域国際化協会、国連機関、NGO、教育関係者、学生が主であった。

これは、開催前からある程度予定していたことだが、予想以上に相談件数が多かった。このことから、国際協力や教育の現場において、開発教育が重要視されていることが分かる。

印象に残った教材について、述べ20名の方から回答を頂いた。こちらは協力団体にフィードバックする。特に、公共財としての「水」を買って飲むということがどういうことなのか、環境と開発の視点から撮影された『ペットボトルの水』への関心が高かった(8名)。また、日本・バングラデシュ・フィンランドの子どもたちが「現実と理想」を裏表に描いた「こいのぼり」を使った教材『夢のこいのぼりBOX』や、青年海外協力隊の教師派遣で途上国に行っていた先生達を中心になって作った『地球の仲間たち』、64億人の世界を100人に縮めたらどうなるかをシミュレーションで体験する『世界がもし100人の村だったら~ワークショップ版』は、「授業に直接使えそう」との理由で、関心を集めた(計6名)。さらに、今回の展示資料ではないが、パネル資料などをご覧になり「各自治体が国際協力に取り組んでいることを初めて知った。」と『自治体の国際協力』に関心を持たれた方も多かった。

<課題と期待>

アンケートでいただいた企画展についてのアドバイスを踏まえ、今後以下のような姿勢で取り組みたい。

「持ち帰りができる教材チラシがあったら嬉しいです。」

配布物は多数用意していたが、来訪者の方に展示の方法が分かりにくかったようなので、展示物の見せ方を今後工夫したい。

「いくつかの教材をやってみたかったです。」

「展示会」という趣旨のために個別に対応することは難しいが、「参加できる企画」を期待するという意見はアンケートの中にも多数あったので、これからも特別企画という形で参加型ワークショップ等を実施していきたい。

「展示をしているグループとの交流、地域での国際化についてのアドバイスなどもして欲しかった」プラザで行われている企画展は協力団体のご厚意によって、展示資料を無償でお借りし実施しているのが現状であるため、今後継続的に協力してもらうには、謝金・交通費など、多少の予算が必要であろう。

「もっと大きなイベントをイメージしていた」

「前回の様子」として、webサイトや、写真を掲載できる広報先に対しては積極的に写真を掲載し、来訪者の方に、企画展をイメージしていただけるように工夫していきたい。

「各団体から、一言メッセージかアピールがあるといいかなと思いました。」

今回は協力団体が多く出来なかった。次回からは取り入れたい。

「説明文は小学生レベルでも理解しやすい説明文があると良いと思います。(老人には難しいのでは)」

バリアフリーの面でも非常に重要な意見なので、こちらで説明書きを作る際には考慮したい。

「写真などの教材をネット上で共有化できるようなシステムを作っていたきたい。」

プラザでできることではないが、ネットを情報収集媒体として重要視しているということは確かなようなので、今後もwebサイトの充実に努めたい。

「もっとイベントを紹介したほうが良いと思います。」

今後とも努力していきたい。

また、来訪しやすい開催時間と曜日について、意見を集めた。日中 26 名、夕方 9 名、夜間 18 名という結果だったが、「市民国際プラザへは行きたいが、土日や平日の夜に開いていないので残念です。」という意見もあり、企画展の間だけでも時間を延長して開催することが求められる。曜日については、各曜日ともあまり差がなかったが、土日が 20 名と圧倒的に多かった。

さらに、今後やって欲しい企画展の内容およびテーマについても、以下のような意見があった。

テーマ

戦争（教科書に出てこないことを含め、分かりやすく教えてくれるビデオや教材）/ 食の安全 / ブータン特集（“ 幸せ ” “ 豊かさ ”。 「 援助 」 ではなく日本が失くしたもの） / 今回のテーマ「本当の豊かさについて考える」はとても良かった。 / 教育 3 名 / 環境 4 名（地球温暖化 2 名、電気、バイオ燃料） / 日本の問題とある国の問題。 貧困問題や環境問題を例にしてそれらが発生するメカニズムを明らかにするような企画

NGO / NPO

協力団体の方々の経験談、教育教材を使つての実践 / 小規模な NGO の活動紹介 2 名 / 子供らの自立

を助けるプロジェクトの紹介

地域の取り組み

国際交流活動を地域の活性化に生かした自治体や団体の紹介 / 国際交流協会同士の意見交換会及び参加できるようなシンポジウム2名 / 各地域の多文化共生への取り組み紹介 / 自治体ならではの取り組み（出向されている方に紹介していただくのもありと思います。）

学校

学校現場を結ぶ活動に関する何か / 国際協力 NPO が地域の学校でどのような国際理解教育が出来るか / ワークショップや模擬授業の実演、体験会 / 小中学生向けのもの、学校では学べないようなもの

その他 映画上映会2名（制作者の講演とセットで）

アンケートでは主に以下のような感想が寄せられた。

- ・各団体の教材や資料を一度に見ることができ満足している（多数）
- ・知人・友人にプラザを宣伝しておきます
- ・それぞれの教材について詳しく解説してあり、教材をよく理解できた
- ・ワークショップについてのアドバイスを得て参考になった
- ・開発教育の進め方についてアドバイスをもらえたのが良かった
- ・教材の説明や入手方法などの案内が充実していた
- ・開発教育に関する様々な教材を見て参考になりました。今後の授業に生かしていきたいです
- ・はじめて市民国際プラザに来ました。また伺います。
- ・こうしたビデオ上映は、小中学校で見ることが、あとになって、社会問題への関心、興味につながるから、有効だと思います。
- ・字幕があり、大変ありがたかったです。要約筆記、ありがとうございました。